

102-158

問題文

高血圧症治療薬に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

1. プロプラノロールは、傍糸球体細胞からのレニン分泌を抑制する。
2. アリスキレンは、アンギオテンシンⅠの産生を抑制する。
3. カプトプリルは、一酸化窒素(NO)の産生を抑制する。
4. カンデサルタンは、アンギオテンシンⅡの産生を抑制する。
5. エブレレノン は、アルドステロンの分泌を抑制する。

解答

1, 2

解説

選択肢 1 は、正しい選択肢です。
プロプラノロールは、β遮断薬です。

選択肢 2 は、正しい選択肢です。
アリスキレンは、直接的レニン阻害薬です。レニンは、アンジオテンシノーゲン→アンギオテンシンⅠ の反応を触媒する酵素です。このレニンを、アリスキレンは阻害するのでアンギオテンシンⅠの産生が抑制されます。

選択肢 3 ですが
カプトプリルは、ACE阻害薬です。NO 産生阻害では、ありません。よって、選択肢 3 は誤りです。

選択肢 4 ですが
カンデサルタンは、ATⅡ受容体拮抗薬です。産生抑制では、ありません。ちなみにATⅡの産生を抑制する というのは、いいかえればACEを阻害すると表せます。従って、ACE 阻害薬に関する記述です。よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 ですが
エブレレノンは、K 保持利尿薬 もしくは アルドステロン拮抗薬 と呼ばれる薬の一種です。アルドステロン受容体拮抗薬ですのでアルドステロンの分泌を抑制するわけではありません。よって、選択肢 5 は誤りです。

以上より、正解は 1,2 です。